

5月号



波佐っ子だより

浜田市立波佐小学校

浜田市金城町波佐イ 558-2

TEL 0855-44-0028

Fax 0855-44-0032

E-mail haza@hamada.ed.jp

発行 2020. 5. 20

<文責：加藤>

令和2年度波佐小学校

学校教育目標

『豊かな心をもち 自ら学び 共にたくましく生きる 波佐の子どもを育てる』

～夢をもち 夢に向かっていく子ども～

<キャッチフレーズ>

「元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔あふれる みんなの波佐小学校」

～好奇心をもって レッツチャレンジ～

学校を再開しました

4月21日からの休校期間を経て5月

11日に学校を再スタートをしました。

校舎に子どもたちの声が響き、学校が息

を吹き返したように感じます。休みの期間、目標が見えにくかったり生活リズムが乱れたり、子どもたち・ご家庭共に大変だったようです。家に籠る生活の影響で何となくけだるさを感じている子どもも多いようですが、学習、体力、気持ちを少しずつ戻していきたいと思えます。まずは子どもたちの心を整えていきたいと思えます。“**子どもはおとなが考える以上に過敏で不安になりやすい**”とされています。様々な制約の中でストレスから不安定になったり、集中力が下がったりと自分では気が付かなくても変調があるものです。自分の状態を知り、安心して学校生活を送れるように、“**一人一人に丁寧にいかかわってきたい**”と思えます。そして、“**気持ちの張り**”を取り戻せるように、学習をしっかりと行います。学習のルールを再確認し、“**心地よい緊張感のある授業**”を行っていきます。勿論、子どもたちの心の様子を感じ取りながらです。各学級では子どもたちの集中度合いを見ながら、作業的な活動を多くしたり、ICTを活用したり、気分転換をしたりと工夫しています。また、放課後の陸上練習の再開、校内ロードレース大会の実施を計画し、目標をもって運動に取り組めるように考えています。

様々な制約はありますが、徐々に元の生活に戻し、活気あふれる波佐小学校にしたいと思えます。

新しい生活様式

学校では引き続き感

染予防対策を行って

いきます。大切にしていることは、子どもたちにこの感染症の恐ろしさと効果的予防の考え方を理解させることです。理屈が分かり自分で判断行動できなければ、自分の身は守れません。(あらゆる場面での行動の仕方をすべて教えることはできませんから)「新しい生活様式」に慣れるように、はじめはしっかりと指導し、徐々に自己判断を増やしていきたいと思えます。

6月行事

3日(水)体力テスト

4日(木)児童集会

5日(金)ロードレース大会 10:30

9日(火)ラブック号 12:40-13:20

10日(水)ロードレース大会予備日

17日(水)全校集会

22日(月)J P貯金

23日(火)スクールカウンセラー来校日



教室の風景

1学級

本格的な学習のスタート。ひらがなの学習で、あいうえおで始まる言葉集めに取り組みました。ひらがな表をじーっと見ながら一字一字丁寧に書いていました。



2学級

今年の外国語のアシスタントティーチャーはアリエ先生です。子どもたち以上にドキドキしながらの初授業でした。子どもたちの楽しそうな反応に助けられたそうです。



3学級 わかあゆ学級

6年生は対象図形の復習です。ちょっと前に学習したことで頭をひねり、思い出しながら、懸命に取り組んでいました。



5年生は立体の体積の学習。ブロックを積み上げ、手と頭で学習をしています。



昼休みの風景

“しっかり体を動かす”“友だちとかかわる”ことを増やすには休み時間は絶好の機会です。外遊びを推奨しています。初日は木に登ったりそれぞれ楽しんでいましたが、外遊びを推奨しています。今は『缶けり』がブームです。



そのほかの風景



ICTの活用はこれからの時代必要不可欠です。学校教育でもその取組が本格化しています。今年度から数年かけて教育用タブレットが一人一台配備され、日常的に授業に活用していきます。

子どもたちがパソコンやタブレットをノートなどの学習用具と同様に使えるようになるためにはキーボード入力ができなければなりません。その練習を楽しみながら自然とできるようになるために学習を始めました。



←給食も楽しみの一つです。感染防止のため、向き合って話しながら食べることはできませんが、いつものように笑顔で完食です。

図書館前の掲示です。→
(図書館支援の先生にお世話になっていきます) 田植えの時期に合わせ、田植えや水田に関する本の紹介と昔の代掻きのやりかたを掲示してあります。

